

長崎県生物多様性保全戦略(H26年12月策定)行動計画の取組の実施状況

行動目標①：自然環境の監視と種の保護・生態系の保全を強化する

取組項目	事務・事業名	事業の概要	担当課名	(千円)		(千円)		戦略行動計画期間(5年間)の予定					備考
				H29実績		H30計画・実施中		事業期間(年度)					
				概要	事業費	概要	事業費	27	28	29	30	31	
希少種のモニタリングと法令に基づく規制制度の運用	ツシマヤマネコ保護増殖事業	対馬のみに生息し、国内希少野生動物種であるツシマヤマネコの生息状況をモニタリング調査する。	自然環境課	環境省からの委託を受けてツシマヤマネコ生息状況モニタリング調査を実施	14,772	環境省からの委託を受けてツシマヤマネコ生息状況モニタリング調査を実施中	14,000	実施	実施	実施	実施	実施	国の委託事業
	希少野生動物種保全事業費	長崎県レッドリスト掲載種のモニタリング調査を実施するとともに、保護が必要な種や規制地域の指定作業を実施する。	自然環境課	レッドリスト掲載種のモニタリング調査を実施するとともに、希少野生動物種保存地域の指定の拡大等を行った。	1,028	レッドリスト掲載種のモニタリング調査を実施するとともに、希少野生動物種保存地域の指定について検討を行うほか、希少種の生息生育等に影響を及ぼす外来生物について、有識者ヒアリング、現地調査及び県内に生息生育する外来生物リストの作成、リーフレットの作成等を行う。	1,785	実施	実施	実施	実施	実施	レッドリスト掲載種のモニタリング調査については、平成30年度以降も実施する。保護が必要な種や規制地域の指定等については、モニタリング調査結果等より必要性について検討を行う。
固有種の保護	緑といきもの賑わい事業	条例に基づく保全地域等の保全事業(外来生物の除去等)、希少野生動物種の保護増殖事業(希少種の生息地保護等)を県、市町、民間の各主体が連携して推進する。	自然環境課	県事業として4箇所、市町・民間への補助事業として5箇所、計9箇所を実施。	10,382	希少種保全やビオトープ整備等の市町・民間事業への補助を行うとともに、県事業においても湿原植物群落の保全や希少種保全に係る施設整備を実施。	12,676	実施	実施	実施	実施	実施	
	鳥獣保護費	野生鳥獣の保護と適正な管理を図るため、鳥獣保護区の指定管理、ガンカモ調査、外来生物に係る情報の収集・発信・ツシマヤマネコに関する啓発活動、シカ等による生態系被害対策、鳥インフルエンザ対策としての糞便調査・死亡野鳥調査等を実施する。	自然環境課	【鳥獣保護区】国指定3箇所、県指定106箇所、計109箇所の指定、更新及び管理を実施 【ガンカモ調査】毎年1月中旬に、県内45地点で調査を実施 【外来生物情報収集等】 【ツシマヤマネコ啓発活動】 【シカ等による生態系被害対策】	4,127	【鳥獣保護区】国指定3箇所、県指定106箇所、計109箇所の指定、更新及び管理を実施 【ガンカモ調査】毎年1月中旬に、県内45地点で調査を実施 【外来生物情報収集等】 【ツシマヤマネコ啓発活動】 【シカ等による生態系被害対策】	4,482	実施	実施	実施	実施	実施	【鳥獣保護区】鳥獣の種類、生息状況を勘案し、当該鳥獣の保護の必要性を検討し今後も指定等を実施する。 【ガンカモ調査】全国一斉調査に合わせて、ガン、カモ及びハクチョウ類の冬季生息状況を調査。
外来生物・移入種対策	緑といきもの賑わい事業(再掲)	(再掲)	自然環境課	(再掲)	(10,382)	(再掲)	(12,676)	実施	実施	実施	実施	実施	(再掲)
	鳥獣保護費(再掲)	(再掲)	自然環境課	(再掲)	(4,127)	(再掲)	(4,482)	実施	実施	実施	実施	実施	(再掲)

行動目標①：自然環境の監視と種の保護・生態系の保全を強化する

取組項目	事務・事業名	事業の概要	担当課名	(千円)		(千円)		戦略行動計画期間(5年間)の予定					備考
				H29実績		H30計画・実施中		事業期間(年度)					
				概要	事業費	概要	事業費	27	28	29	30	31	
鳥獣被害対策	鳥獣保護費(再掲)	(再掲)	自然環境課	(再掲)	(4,127)	(再掲)	(4,482)	実施	実施	実施	実施	実施	(再掲)
	鳥獣害に強い地域づくり推進事業	「防護」「棲み分け」「捕獲」の3対策を基本とした取り組みを普及させるべく、市町が取り組む事業への補助やリーダーの育成など総合的に支援する。あわせて、加害個体を中心に個体数調整を行うための地域の捕獲体制整備を支援する。	農山村対策室	・3対策の重点指導 51地区 ・イノシシ等の侵入防止柵設置距離 703km(国庫) ・捕獲報奨金によるイノシシ捕獲 34,776頭(県単) ・地域の捕獲隊整備 50チーム	694,855	行政、関係団体が構成する重点指導チームがイノシシ等野生鳥獣被害の大きい地区に対して地域ぐるみの3対策を指導する。 捕獲対策では、地域自ら行う捕獲隊の整備を県内各地で進める。	1,468,050	—	—	計画及び実施	実施	実施	
鳥獣の保護	鳥獣保護費(再掲)	(再掲)	自然環境課	(再掲)	(4,127)	(再掲)	(4,482)	実施	実施	実施	実施	実施	(再掲)
	負傷鳥獣保護活動強化事業費	負傷鳥獣の救護施設、体制を整備し、より多くの負傷鳥獣の野生復帰を推進する。	自然環境課	(公社)長崎県獣医師会及び西海国立公園九十九島動物園(指定管理者)させぼパール・シー(株)に負傷鳥獣の保護・収容・治療・野生復帰訓練を委託して実施	5,500	(公社)長崎県獣医師会及び西海国立公園九十九島動物園(指定管理者)させぼパール・シー(株)に負傷鳥獣の保護・収容・治療・野生復帰訓練を委託して実施中	5,500	実施	実施	実施	実施	実施	
野鳥の鳥インフルエンザ対策	鳥獣保護費(再掲)	(再掲)	自然環境課	(再掲)	(4,127)	(再掲)	(4,482)	実施	実施	実施	実施	実施	(再掲)
海域環境の保全・回復	水産環境整備事業	藻場回復のため、現存する藻場の隣接箇所において着定基質を設置し、藻場を造成する。(橘湾)	漁港漁場課	—	—	—	—	—	—	—	—	—	H26年度に実施
	漁場環境保全対策	漁業者団体へ委託し、タイラギ、アサリ等の二枚貝を捕食するナルトビエイの駆除を有明海で実施する。	漁港漁場課	ナルトビエイの駆除実施により、二枚貝等の食害防止に寄与した。 H29年度駆除数: 449尾	1,200	有明海におけるナルトビエイによるアサリ、タイラギ等の食害を軽減するため、駆除活動を継続する。	1,200	実施	実施	実施	実施	実施	
	水産多面的機能発揮対策事業	藻場・干潟・浅場の維持・回復等保全活動を行う組織を支援する。	漁港漁場課	取組組織数も増加し、今後も活発な回復活動が見込まれる。 H29年度組織数: 76	57,000	既存の活動組織を支援するとともに、新たな取組の推進を図る。	61,000	実施	実施	実施	実施	実施	「藻場回復等総合推進事業」の中で実施
	離島漁業再生支援交付金	藻場・干潟・浅場の維持・回復等保全活動を行う組織を支援する。	漁政課	藻場の管理・改善に取り組む離島の漁業集落を支援する。	581,000	藻場の管理・改善に取り組む離島の漁業集落を支援する。	586,414	実施	実施	実施	実施	実施	第3期対策 事業実施期間 平成27年度～平成31年度(5年間)
	資源管理計画の策定	資源の維持、増大と資源の持続的利用を図るために、自ら休漁期間の設定や小型魚の再放流などを取り決めた資源管理計画を策定する。	漁業振興課	【資源管理計画の策定】16件の資源管理計画が新たに作成された。	23,643	【資源管理計画の策定】新たな資源管理計画の作成について随時指導を実施。	13,849	実施	実施	実施	実施	実施	平成31年度以降も継続して実施予定

行動目標①：自然環境の監視と種の保護・生態系の保全を強化する

取組項目	事務・事業名	事業の概要	担当課名	(千円)		(千円)		戦略行動計画期間(5年間)の予定					備考
				H29実績		H30計画・実施中		事業期間(年度)					
				概要	事業費	概要	事業費	27	28	29	30	31	
海域環境の保全・回復	藻場回復技術実証推進事業	海域特性や藻場の種類、地域の取組体制を踏まえ、総合水産試験場で開発された藻場回復手法をモデル地区で実施し、効果を他地域に普及拡大する。	漁港漁場課	—	—	—	—	終了	—	—	—	—	
	再生砂による浅場づくり実証試験事業	廃ガラスを原料とした再生砂を用いて人工的に浅場を造成し、浅場造成の有効性を検証する。	地域環境課	時津町崎野自然公園地先における浅場造成工事の設計及び着手。	25,000	時津町崎野自然公園地における浅場造成工事の完了。	21,300	実施	実施	実施	実施	実施	H29～30年度にかけて2箇所目の浅場造成工事に着手、完了予定。その後の浅場造成については未定。
	海砂採取による海域影響調査(モニタリング)	海砂採取の海域への影響調査(モニタリング)を実施し、海砂採取跡海域の海域環境等のデータ蓄積を図り、経年変化を確認して、海砂採取の海域環境への影響の有無を確認する。	監理課	【海砂採取による海域影響調査】 平成28年度に設置した海砂採取に関する有識者会議の提言に基づき、平成30年度にモニタリングを実施するため、調査項目や手法等を検討	—	【海砂採取による海域影響調査】 ・海底映像調査、海砂採取時の濁度監視調査を行うほか、次の調査を四半期毎に実施 ①生物環境調査 ②底質調査 ③付着生物調査 ④魚介類調査 ・夏期、秋期、冬期はH30年度に、春期はH31年度に調査を実施	25,665	実施	実施	計画	実施	実施	調査結果は、平成31年度内に各分野の専門家で構成する「海砂採取に関する有識者会議」を設置し検証する予定。
自然公園等の保全・管理	自然公園計画検討費	すぐれた自然風景地の適正な保護と利用の増進を図るため、公園計画の再検討を実施する。	自然環境課	公園計画に係る審議案件なし	141	公園計画に係る審議案件なし	262	実施	実施	実施	実施	実施	
	自然公園等の許認可業務	すぐれた自然風景地の適正な保護と利用の増進を図るため、自然公園法等に基づき許認可業務を実施する。	自然環境課	自然公園法等に基づき許認可業務を実施	—	自然公園法等に基づき許認可業務を実施中	—	実施	実施	実施	実施	実施	
水質の保全	汚水処理対策	公共用水域の水質改善及び環境保全のため、全体的に汚水処理施設の普及促進を図る。	水環境対策課	流域下水道1箇所、公共下水道16市町、農業集落排水事業6市町、浄化槽設置整備事業19市町	7,088,829	流域下水道1箇所、公共下水道16市町、農業集落排水事業6市町、浄化槽設置整備事業20市町	7,000,890	実施	実施	実施	実施	実施	
	明日の大村湾を創る事業	大村湾の水質改善及び環境保全のため、貧酸素水塊及び赤潮対策としてエアレーション等を実施する。	地域環境課	—	—	—	—	実施	実施及び終了	—	—	—	H28年度に終了

行動目標①：自然環境の監視と種の保護・生態系の保全を強化する

取組項目	事務・事業名	事業の概要	担当課名	H29実績 (千円)		H30計画・実施中 (千円)		戦略行動計画期間(5年間)の予定					備考
				H29実績		H30計画・実施中		事業期間(年度)					
				概要	事業費	概要	事業費	27	28	29	30	31	
漂流漂着ごみ対策	漂流漂着ごみ対策	海辺の漂着ごみの具体的内容(ごみの国籍、種類や量など)についての解析や環境教育などを含んだ発生抑制対策など各種漂着物対策を推進することで、海岸の良好な景観、多様な生態系の確保、生活衛生の向上、水産資源の保全等総合的な海岸環境の保全を図る。	廃棄物対策課	【海辺の漂着物調査】ごみの国籍、種類や量などの調査を県内4保健所管内で実施した。	10	【海辺の漂着物調査】ごみの国籍、種類や量などの調査を県内4保健所管内で実施。	10	実施	実施	実施	計画及び実施	計画	
				【釜山市との交流事業】釜山広域市との交流事業(海岸清掃とワークショップ)を12月に宮崎市で実施した。	10,584	【釜山市との交流事業】釜山広域市との交流事業(海岸清掃とワークショップ)を7月に五島市で実施。	12,861	実施	実施	実施	計画及び実施	計画	
	大村湾水質保全対策	環境美化や水質保全等のため、大村湾をきれいにする会が事業主体となって行う浮遊ごみ除去対策事業への補助等を行う。	地域環境課	年11回の清掃を実施し、浮遊ごみ19,550kgを回収・処分した。	4,500	年11回の清掃を実施。	4,500	実施	実施	実施	実施	計画	H28年度より大村湾環境総合対策事業に統合し実施中。
生物多様性に関する情報の整備・運用	ふるさと自然再生事業	身近なふるさとの自然環境の保全、再生、活用を図るため、生物多様性評価地図を活用し、県立公園の保全手法の見直し、地域性あふれる自然環境の再生を推進する。	自然環境課	—	—	—	—	実施	実施及び終了	—	—	—	H28年度に終了

長崎県生物多様性保全戦略(H26年12月策定)行動計画の取組の実施状況

行動目標②：人とふるさとの自然とのつながりを回復する

取組項目	事務・事業名	事業の概要	担当課名	(千円)		(千円)		戦略行動計画期間(5年間)の予定					備考
				H29実績		H30計画・実施中		事業期間(年度)					
				概要	事業費	概要	事業費	27	28	29	30	31	
生産活動と多様な主体との連携の促進	森林ボランティア等の活動支援	森林所有者や地域住民等が協力して森林の有する多面的機能を発揮させるための保全活動及び山村地域の活性化に資する取組に対し支援する。	林政課	森林ボランティア支援センターを中心とした取組により、森林環境税を活用し、植樹や森林整備など森林ボランティア団体の活動を支援した。	2,982	森林ボランティア支援センターを中心とした取組により、森林環境税を活用し、植樹や森林整備など森林ボランティア団体の活動を支援する。	3,000	実施	実施	実施	実施	実施	森林ボランティア活動に参加する人は年々増加している。今後も団体の活動が継続的なものとなるよう支援していく必要がある。
生物多様性に配慮した生産活動の実施	人と環境にやさしい農業対策事業	長崎県版GAP、JGAP等を推進することにより、農産物の安全性の確保、環境保全型農業の推進等を効果的に実施できる信用力の高い集団・農業者を育成するとともに、より環境保全効果の高い農法の確立と普及推進のため、環境にやさしい農業技術の開発、農業者に対する濃密な普及啓発、地域に適した生産方式の実証及び生産技術指導等や各種の取組へ支援・指導する。	農業経営課	長崎ECOひいき農産物支援事業により、研修会等を通じて実需者の要求に対応できるGAP実践農業者や指導者の育成、有機・特別栽培農産物の生産する農業者の資質向上を図った。 ひと・水・土が調和した長崎農業実現事業により、環境保全型農業の推進に取り組み、窒素負荷低減のための技術開発として、カバークロープ導入支援を行った。	8,912	GAPの推進のため、GAP講習会の開催や農場評価の実施、GAP指導員の育成及びGAP認証取得に要する経費へ支援を行う。 有機農産物の販路拡大のためのマルシェの開催や技術研修会等により有機農業の振興に取り組む。 環境保全型農業の推進のため、土壌分析に基づく肥培管理指導や窒素負荷低減のための技術開発を行う。	18,051	実施	実施	実施	実施	実施	
	環境保全型農業直接支援対策事業費	化学肥料・化学合成農薬の使用量を通常5割以上低減する取組に併せてカバークロープ、堆肥の施用及び有機農業等、地球温暖化防止や生物多様性保全に効果のある取組を行う個々の農業者に対して支援を行う。	農業経営課	環境保全型農業直接支援対策事業により、地球温暖化防止や生物多様性保全に効果の高い営農活動の取り組み農業者に対する支援を行った。1,740ha	92,578	地球温暖化防止や生物多様性保全に効果の高い営農活動に取り組む農業者に対する支援を行っている。地球温暖化防止や生物多様性の確認のための調査を実施する。	103,920	実施	実施	実施	実施	実施	国の交付金の配分が十分でなく、要件が厳しくなっている。
	農業農村整備事業	事業計画策定時に環境情報協議会を開催する。	農村整備課	県央、島原、県北の各振興局で環境情報協議会を開催した。	139	県央、島原、県北、杵岐の各振興局で環境情報協議会を開催する。	298	実施	実施	実施	実施	実施	

行動目標②：人とふるさとの自然とのつながりを回復する

						(千円)		(千円)		戦略行動計画期間(5年間)の予定				
取組項目	事務・事業名	事業の概要	担当課名	H29実績		H30計画・実施中		事業期間(年度)					備考	
				概要	事業費	概要	事業費	27	28	29	30	31		
森林等の多面的機能の発揮	森林整備	施業の集約化や路網整備を通じて施業の低コスト化を図りつつ計画的に行う、搬出間伐の施業に対する支援を行う。	森林整備室	搬出間伐を効率的に実施するため、施業の集約化、路網整備などコスト削減を図り、搬出間伐の施業を支援した。	776,125	搬出間伐を効率的に実施するため、引続き施業の集約化、路網整備などコスト削減を図り、搬出間伐の施業を支援する。	949,784	実施	実施	実施	計画及び実施	実施	搬出間伐面積は計画どおり増加しており、担い手の確保、生産性の向上を図り、引き続き森林整備を推進していく。	
	森林ボランティア等の活動の支援(再掲)	森林所有者や地域住民等が協力して森林の有する多面的機能を発揮させるための保全活動及び山村地域の活性化に資する取組に対し支援する。	林政課	森林ボランティア支援センターを中心とした取組により、森林環境税を活用し、植樹や森林整備など森林ボランティア団体の活動を支援した。	2,982	森林ボランティア支援センターを中心とした取組により、森林環境税を活用し、植樹や森林整備など森林ボランティア団体の活動を支援する。	3,000	実施	実施	実施	実施	実施	森林ボランティア活動に参加する人は年々増加している。今後も団体の活動が継続的なものとなるよう支援していく必要がある。	
	河川改修事業	多自然川づくりを通じて、生物多様性にできるだけ配慮して事業を実施する。	河川課	県内23河川において、多自然川づくりによる整備を進めた。	5,052	県内25河川において、多自然川づくりによる整備を進める。	2,238	実施	実施	実施	実施	実施		
里地里山の保全活用	中山間地域等直接支払制度	中山間地域等において耕作放棄の原因となる農業生産条件の不利性を直接補正する直接支払いを実施し、適正な農業生産活動の維持を通じ、農地の多面的機能の発揮を図る。	農山村対策室	中山間地域等直接支払事業により、農業生産活動を将来に向けて維持するため、耕作放棄地の発生防止などの活動を支援した。	1,072,402	中山間地域等直接支払費により、農業生産活動を将来に向けて維持するために耕作放棄地の発生防止活動や多面的機能の確保に向けた活動を支援していく。	1,102,062	実施	実施	実施	実施	実施	第4期対策(H27-31)の4年目取組面積の拡大を推進	
	ふるさと自然再生事業(再掲)	(再掲)	自然環境課	(再掲)	—	(再掲)	—	実施	実施及び終了	—	—	—	(再掲)	
有害鳥獣、外来生物による被害の防止	鳥獣害に強い地域づくり推進事業(再掲)	(再掲)	農山村対策室	(再掲)	(694,855)	(再掲)	(1,468,050)	—	—	計画及び実施	実施	実施	(再掲)	

長崎県生物多様性保全戦略(H26年12月策定)行動計画の取組の実施状況

行動目標③：多様な地域資源の活用を進める

取組項目	事務・事業名	事業の概要	担当課名	(千円)		(千円)		戦略行動計画期間(5年間)の予定					備考
				H29実績		H30計画・実施中		事業期間(年度)					
				概要	事業費	概要	事業費	27	28	29	30	31	
多様な地域資源の活用	人と環境にやさしい農業対策事業(再掲)	(再掲)	農業経営課	(再掲)	(8,912)	(再掲)	(18,051)	実施	実施	実施	実施	実施	(再掲)
	自然環境情報の共有化と発信	県民や自然保護団体との間での自然環境情報の共有化、県民や自然保護団体の取組のPRにより、活動の促進と支援を行う。また、自然環境情報の公開により、事業計画者の環境配慮を促進する。	自然環境課	県HPに自然環境情報を掲載し、県民や事業者への周知を行っている。また、随時自然保護団体等との情報交換を行った。	-	県HPに自然環境情報を掲載し、県民や事業者への周知を行っている。また、随時自然保護団体等との情報交換を行っている。	-	実施	実施	実施	実施	実施	
	バイオマス資源の活用	森林整備を進めるため、木質バイオマスの利活用を推進する	林政課	森林施業の集約化や路網整備・機械化を通じて施業の低コスト化への対する支援を行い、木質バイオマス材の生産量の拡大を図った。	399,830	引き続き、森林施業の集約化や路網整備・機械化を通じて施業の低コスト化を進め、木質バイオマス材の生産量の拡大を図る。	454,129	実施	実施	計画及び実施	実施	実施	生産された木材は製材用を中心に輸出用やバイオマス用など品質に応じて販売しており、これらの木材を生産するための総事業費を計上している。
	エコツーリズムの推進	エコツーリズムによるジオパークや自然公園等の地域資源の活用を通して、地域の振興と自然環境の保全を図る。	自然環境課	対馬において、エコツーリズムの推進を図るため持続可能な利用計画を策定	3,532	雲仙において、エコツアーのフィールドとなるトレイルコースの検討を行う。	2,256	実施	実施	計画	計画	計画	

長崎県生物多様性保全戦略(H26年12月策定)行動計画の取組の実施状況

行動目標④：生物多様性の恵みにふれる機会を増やす

取組項目	事務・事業名	事業の概要	担当課名	(千円)		(千円)		戦略行動計画期間(5年間)の予定					備考
				H29実績		H30計画・実施中		事業期間(年度)					
				概要	事業費	概要	事業費	27	28	29	30	31	
自然公園等の環境美化	未来環境条例に基づくごみの投げ捨て等防止重点地区等の指定	「ごみ投げ捨て等防止重点地区」、「喫煙禁止地区」、「自動販売機設置届出地区」において、指定地区の周知・啓発活動及び巡回指導を行う。	廃棄物対策課	各保健所と連携しながら、条例の周知・啓発と各指定地区の巡回指導を実施	71	各保健所と連携しながら、条例の周知・啓発と各指定地区の巡回指導を実施	368	実施	実施	実施	実施	実施	引き続き条例の周知・啓発と巡回指導を実施予定。
	一斉清掃	環境月間である6月の「空き缶回収キャンペーン」等を中心に、環境美化活動を実施する。	廃棄物対策課	県下統一実施日(月間)を中心に、県下21市町で環境美化活動を実施。	—	県下統一実施日(月間)を中心に、県下21市町で環境美化活動を実施。	—	実施	実施	実施	実施	実施	引き続き各市町と連携を図りながら実施予定。
	国立公園清掃活動補助金	雲仙天草国立公園、西海国立公園の重点清掃地域において、快適な公園利用が図られるよう利用者によるごみ等の収集、処分等の清掃を、国・県・市・地元団体が協力して実施する。	自然環境課	西海国立公園(鹿子前、弓張岳、平戸、福江)、雲仙天草国立公園(雲仙)において清掃事業を実施	2,592	西海国立公園(鹿子前、弓張岳、平戸、福江)、雲仙天草国立公園(雲仙)において清掃事業を実施	2,592	実施	実施	実施	実施	計画	
自然とのふれあいの促進	自然公園等総合整備事業費	自然公園の適正な利用を推進するため、既存施設のリニューアル、新規箇所での整備を進める。また、中小規模の市町事業に対し助成を行い、公園施設の充実を図る。	自然環境課	—	—	—	—	実施	実施及び終了	—	—	—	H28年度に終了
	西海国立公園リニューアル整備事業	西海国立公園において、利用者の増加に対応できていない施設や老朽化が進んでいる施設があるため、これらについて再整備し、西海国立公園の適正利用を推進する。	自然環境課	西海国立公園内2箇所実施	41,086	西海国立公園内3箇所で実地予定。	69,600	—	計画及び実施	実施	実施	実施及び終了	
	自然に親しむ運動	自然公園において、自然観察会等を開催し、自然に親しむことを通じて自然保護思想の普及と自然公園の適正な利用を推進する。	自然環境課	—	—	—	—	実施	実施及び終了	—	—	—	H28年度に終了
	鳥獣保護費(再掲)	(再掲)	自然環境課	(再掲)	(4,127)	(再掲)	(4,482)	実施	実施	実施	実施	実施	(再掲)

行動目標④：生物多様性の恵みにふれる機会を増やす

取組項目	事務・事業名	事業の概要	担当課名	(千円)		(千円)		戦略行動計画期間(5年間)の予定					備考
				H29実績		H30計画・実施中		事業期間(年度)					
				概要	事業費	概要	事業費	27	28	29	30	31	
保全活動への多様な主体の参加促進	美しいふるさと推進大会	地球温暖化などの地球規模の問題から、身近なごみの問題まで、環境に関する県民の関心と理解を深め、「環境にやさしい長崎県」の実現を目的として、県、県保健環境連合会の主催による推進大会を毎年度開催する。	廃棄物対策課	-	-	-	-	実施	実施	終了	-	-	H28年度に終了
	ながさき環境県民会議	ながさき環境県民会議において、「ゴミゼロながさき実践計画」や地球温暖化防止対策を推進するための「レインボープラン」の進行管理を行い、県民総ぐるみでの環境保全活動を推進する。	廃棄物対策課	県民、事業者、NPO等がそれぞれの役割を果たしながら、自主的にかつ相互に連携して具体的な取り組みを実践する。	6,220千円の一部	県民、事業者、NPO等がそれぞれの役割を果たしながら、自主的にかつ相互に連携して具体的な取り組みを実践する。	20,489千円の一部	実施	実施	実施	実施	実施	部会運営分は、平成30年度より「地球温暖化対策推進事業費」
	諫早湾干拓調整池水辺空間づくり事業	諫早湾干拓調整池の恒久的な水質保全を図るとともに、水辺環境や生態系を住民とともに守り育み、自然豊かな水辺空間づくりを推進する。	地域環境課	①環境保全・創造のための住民活動の推進 ISEネットを中核とした環境活動の取り組み(イベント等での啓発活動の実施)	5,902	①環境保全・創造のための住民活動の推進 ISEネットを中核とした環境活動の取り組み(イベント等での啓発活動の実施)	5,670	実施	実施	実施	実施	実施	
	森林ボランティア等の活動支援(再掲)	(再掲)	林政課	(再掲)	(2,982)	(再掲)	(3,000)	実施	実施	実施	実施	実施	(再掲)
	環境保全活動推進事業	地域で開催される研修会・学習会等に学識経験者や実践活動家からなる環境アドバイザーを派遣する。また、環境学習総合サイトやながさきグリーンサポーターズクラブにより、環境関連情報の発信、環境リーダーの拡大、ネットワークの構築を行う。	環境政策課	【環境アドバイザー派遣制度】 地域で開催される研修会・学習会等に環境アドバイザーを72回派遣 【ながさきグリーンサポーター】 環境学習総合サイト「環境活動eネットながさき」及びメールマガジンによる環境情報の発信及び、環境リーダー交流会の実施。	2,801の一部	【環境アドバイザー派遣制度】 地域で開催される研修会・学習会等に環境アドバイザーを派遣 【ながさきグリーンサポーター】 環境学習総合サイト「環境活動eネットながさき」及びメールマガジンによる環境情報の発信、子ども向け環境教育指導者養成講座、五島・県南地区でのネットワーク会議の実施。	3,811の一部	実施	実施	実施	実施	実施	環境保全活動推進事業費
	自然環境情報の共有化と発信(再掲)	(再掲)	自然環境課	(再掲)	-	(再掲)	-	実施	実施	実施	実施	実施	(再掲)

長崎県生物多様性保全戦略(H26年12月策定)行動計画の取組の実施状況

行動目標⑤：生物多様性に関する情報の整備と環境に配慮した取組を進める

取組項目	事務・事業名	事業の概要	担当課名	(千円)		(千円)		戦略行動計画期間(5年間)の予定					備考
				H29実績		H30計画・実施中		事業期間(年度)					
				概要	事業費	概要	事業費	27	28	29	30	31	
生物多様性に関する情報の整備	自然環境情報の共有化と発信(再掲)	(再掲)	自然環境課	(再掲)	-	(再掲)	-	実施	実施	実施	実施	実施	(再掲)
	ふるさと自然再生事業(再掲)	(再掲)	自然環境課	(再掲)	-	(再掲)	-	実施	実施及び終了	-	-	-	(再掲)
	希少野生動植物種保全事業費(再掲)	(再掲)	自然環境課	(再掲)	(1,028)	(再掲)	(1,785)	実施	実施	実施	実施	実施	(再掲)
環境に配慮した取組の推進	環境影響評価の審査	長崎県環境影響評価条例、環境影響評価法及び個別法等にかかる開発行為について、環境に対する影響を審査し、環境保全措置を指導する。	地域環境課	長崎県環境影響評価条例、環境影響評価法及び個別法等にかかる開発行為の環境に対する影響について、環境情報システムも活用しながら審査を実施した。	4,188	長崎県環境影響評価条例、環境影響評価法及び個別法等にかかる開発行為の環境に対する影響について、環境情報システムも活用しながら判定及び審査を実施する。	4,835	実施	実施	実施	実施	実施	
	県庁EMS(公共工事の環境配慮推進)	環境に影響を及ぼすおそれのある開発事業について、長崎県環境基本計画環境配慮指針に基づく確認と評価、結果の検証が実施されているか監査する。	環境政策課	平成29年度から効率化を図った県庁EMSを運用。公共工事等実施所属は、環境配慮に係るセルフチェックを実施し、実施の件数を様式1号により事務局へ報告した。(一部所属で現在作成中)	7,618千円の一部	平成29年度から効率化を図った県庁EMSを引続き運用。公共工事等実施所属へは、環境配慮に係るセルフチェックの実施及び結果の報告を求めている。	20,489千円の一部	実施	実施	実施	実施	実施	平成30年度より「地球温暖化対策推進事業費」
	公有地化事業(用地基金)	必要に応じて良好な自然環境を有する地域を購入する。	自然環境課	購入すべき案件なし	0	購入予定なし	0	-	-	-	-	-	
	自然公園計画検討費・自然公園等の許認可業務(再掲)	(再掲)	自然環境課	(再掲)	(141)	(再掲)	(262)	実施	実施	実施	実施	実施	(再掲)